

災害時の精神医療対応について ～災害派遣精神医療チーム (DPAT) の現在～

高橋 晶 先生

筑波大学医療医学系 災害・地域精神医学 准教授

茨城県立こころの医療センター 地域・災害支援部長・室長

平成30年3月5日 (月)

18:30～20:30

筑波大学総合研究棟D 公開講義室(1F)

東日本大震災、常総市水害、熊本地震、その他多くの災害が日本で起こっている。東日本大震災におけるこころのケアの問題点として、急性期支援の問題、指示統括の問題、平時の準備体制の不備があげられる。この点に対応した形で平成25年4月、厚生労働省は災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team: DPAT)の定義を定め、現在、全国的な規模で、その整備が始まっている。茨城県においても、整備が行われている。DPATの概略を報告し、現在の災害精神医学、保健体制についてお話したい。

今回の勉強会では、筑波大学医学医療系准教授 高橋晶先生に「災害時の精神医療対応について ～災害派遣精神医療チーム (DPAT) の現在～」の演題で、お話していただく予定です。事前申し込みの必要はございません。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。この講演会に参加されますと、日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医2単位と認定薬剤師1単位が取得できます。

またフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4 (高齢者医学)の一部となっています。

連絡先：筑波大学医学医療系
福祉医療学
柳 久子
TEL&FAX : 029-853-3496